

核酸クロマト紙 (C-PAS)

×

=

遺伝子検査の 新しいカタチ

等温核酸増幅法

新商品

iso-PASワーキングカセット

- 作業工程を極力減らした遺伝子検査
- コンタミリスク低減
- 高価な装置不要

1



①検体遺伝子+遺伝子増幅試薬注入

密閉後は判定まで開封しないため、
コンタミリスクを低減

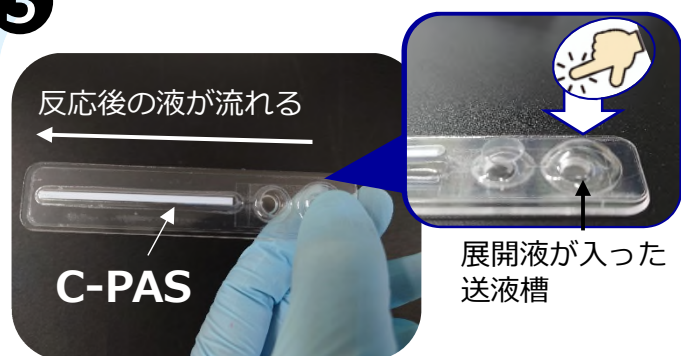
2



②恒温装置で等温増幅反応

サーマルサイクラー必要無し

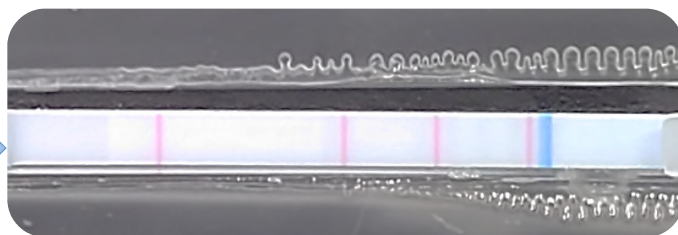
3



③送液槽を押すだけで C-PASと反応

4

増幅された標的遺伝子が
PASと反応し、青く呈色



④約10分後に目視判定

複数項目同時検査可能

株式会社TBA

宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6-40 T-Biz 307号室

東北大学青葉山キャンパス内

Tel/Fax:022-721-7822

<https://www.t-bioarray.com/>



～世界の子供たちに健やかな未来を～